



薬剤部

～情報～

2019年4月



3月の採用薬品 (常備薬品)

オキノーム散 2.5mg 癌疼痛治療用剤 塩野義製薬

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として1日10～80mgを4回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【副】添付文書参照



パタノール点眼液 0.1% 抗アレルギー点眼剤 アルコンファーマ

【効】アレルギー性結膜炎
【用】通常、1回1～2滴、1日4回（朝、昼、夕方及び就寝前）点眼する。
【副】添付文書参照



アスパラカリウム錠 300mg Kアスパルテート製剤 ニプロESファーマ

【効】下記疾患又は状態におけるカリウム補給：
（1）降圧利尿剤、副腎皮質ホルモン、強心配糖体、インスリン、ある種の抗生物質などの連用時
（2）低カリウム血症型周期性四肢麻痺
（3）心疾患時の低カリウム状態
（4）重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後
【用】L-アスパラギン酸カリウムとして、通常成人1日0.9～2.7g（錠：3～9錠）を3回に分割経口投与する。
なお、症状により1回3g（錠：10錠）まで増量できる。
【副】添付文書参照



ポラプレジックOD錠 75mg 「サイイ」 亜鉛含有胃潰瘍治療剤 沢井製薬

【効】胃潰瘍
【用】通常、成人にはポラプレジックとして1回75mgを1日2回朝食後及び就寝前に経口投与する。
【副】添付文書参照



3月の採用薬品 (特定個人薬品)

イグザレルト錠 10mg 選択的直接作用型第Xa因子阻害剤 バイエル薬品

【効】1. 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
2. 深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制
【用】1. 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制：通常、成人にはリバーロキサバンとして15mgを1日1回食後に経口投与する。なお、腎障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて10mg 1日1回に減量する。
2. 深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制：通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間はリバーロキサバンとして15mgを1日2回食後に経口投与し、その後は15mgを1日1回食後に経口投与する。
【副】添付文書参照



3月の採用薬品 (院外専用薬品)

イフェクサーSRカプセル 75mg セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤 ファイザー

【効】うつ病・うつ状態
【用】【副】添付文書参照



レグテクト錠 333mg アルコール依存症断酒補助剤 日本新薬

【効】アルコール依存症患者における断酒維持の補助
【用】【副】添付文書参照



3月の後発医薬品への変更

モニラック・シロップ 6.5% → ラグノスNF経口ゼリー 1.2g
ビソルボン吸入液 0.2% → ブロムヘキシン塩酸塩吸入液 0.2% 「タイヨー」
強力ポステリザン（軟膏） → ヘモポリゾン軟膏
スピロペント錠 10μg → トニール錠 10μg

3月の削除薬品

ジギラノゲン注 0.4mg

